

学校教育目標

「主体的に取り組む 心豊かな たくましい子どもを育てる」

——— 学校に来ることを楽しみに思う学校づくりを基底に据え、豊かな心と確かな学力を育み、信頼される学校をめざす ———

めざす学校像

全ての児童が楽しく、安心して生活できる環境をつくり、保護者・地域から信頼される学校をめざす。
 目標を明確化し、児童が達成感や充実感を味わえる確かな授業づくりをし、基礎基本の徹底と学力の向上をめざす。
 地域に根差し、地域の教育力を活用するとともに、積極的に情報公開し、開かれた学校づくりに努める。
 全教育活動を通して道徳的实践力を培い、元気で明るく、心豊かな児童の育成に努める。

めざす児童像

- 「強く」 ・自律して生活する子ども
- 「正しく」 ・よく聞き、よく考え、自ら進んで学ぶ子ども
- 「心豊かに」 ・思いやりを持って人に接することができる子ども
- ・友だちと元気よく遊ぶ子ども

領域	中期経営目標	短期経営目標	具体的方策	評価指標・評価基準
学力の向上	基礎・基本の学力を重視し、一人一人の個性の伸長を図ると共に、自ら学び自ら考える力を育てる。	基礎学力の定着を図る。	学習規律の定着を図る。	学習規律（聞く態度・発表の仕方・学習用具の準備・姿勢等）をつくり定着を図る。
			朝読書や朝の学習を計画的に行う。	読書・基礎的学習を継続する。
			基礎学力に関して配慮を要する児童の指導工夫を行う。	個別指導・習熟度別指導・支援のあり方等を改善する。
			情報活用能力の定着を図る。	年間計画を立て学年に応じた力を育てる。
豊かな人間の育成	「豊かな心」と「道徳的实践力」を身につける。	心に響く道徳教育の充実を図る。	読みの力（読解力）を育てる。（児童に）	読み取ったことを表現する力をつける。
		児童理解態勢の充実を図る。	読みの力（読解力）を育てる授業のあり方を研究する。（教師）	授業研究に努め積極的に授業公開を行う。
		学校生活の中でのきまりを定着させ、豊かな人間関係を育てる。	道徳指導内容の充実を図る。	心のノートを有効に活用する。
健康・体力の向上	明るく元気に活動する子どもを育てるとともに、安全に関心を持ち実践できる子どもを育てる。	健康な身体づくりに努める。	配慮を要する児童・問題行動等の研修会を通し児童理解に努める。	全体研修会や情報交換会を実施する。
		体力・運動能力の向上に努める	基本的生活習慣（廊下・階段の歩行・清掃・挨拶等）を付ける。	重点目標を決め、全職員で指導に取り組む。
			学年発表（朝会）・集会等の充実を図る。	全学年が朝会で学年発表を実施する。
		自分の命を自分で守る実践力の育成	基本的な生活習慣（ ）の定着を図る。	児童アンケート等で意識調査をする。
まちぐるみによる教育の推進	情報発信を積極的に行い、家庭・地域社会から信頼される学校づくりに努める。（2学期制の実施を通して）	教育環境整備の充実を図る。	給食指導を中心に食と健康について意識を高める。	児童アンケート等で意識調査をする。
		毎月計画的に情報を発信するとともに、家庭・地域・幼稚園・中学校との連携を図る。	外遊びを奨励する。（なかよしタイムを行う。）	児童アンケート等で意識調査をする。
			新体力テストの結果から方向性を検討する。	全学年で統一した種目を取り入れる等の工夫をする。
			避難訓練・不審者対応など実施し意識の向上を図る。	避難訓練・不審者対応の研修を行う。
		教職員で、児童の安全・学校環境作りに努める。	月1回の職員作業を実施する。	
		学校情報の充実を図り、学校の取り組みや児童の様子を発信する。（学校便り・学年だより・Webページ等）	最新情報を家庭や地域に発信する。（更新回数）	
		学校協力者会議や保護者の要望を学校教育活動に生かす。	保護者アンケートを実施する。	
		幼・小・中との連携、地域施設・地域行事・地域の人々等との交流を図り学校教育活動に生かす。	交流・研修計画を立て、実施する。	